

知的な土佐の歩き方

高知の歴史や自然、食などを題材に地域の歩き方を紹介する「大学的
高知ガイド」Ⅱ写真Ⅱが刊行され
た。

各県の大学が発刊している「大学的
○○ガイド」のシリーズ。高知県
立天文学部の編集で、「まちをある
く」「歴史文化を訪ねる」「食と自然を
旅する」「暮らしから学ぶ」の4部構
成。県内の大学教員や学芸員ら41人
が、学術的視点からちよつと知的な
土佐の歩き方を記している。

「大学的 高知ガイド」

県立大教授ら執筆

宇都宮千穂「旭街―『いま』と
『むかし』を歩く」は、高知市旭地
区の町を歩きながら昭和期に紙産業
で栄えた地区の様子を経済史料から
復元する。

飯高伸五「移民とカフェ」は、佐
川町出身で「ブラジル移民の父」と
呼ばれた水野龍が、移民事業を通じ
て日本での「カフェの文化」の普及
に尽力したことを紹介している。

川上香「トウモロコシと山のくら
し」は、県山間部で盛んだったキビ
栽培と多様な食べ方を民俗誌的に記
述する。

橋尾直和「民具とまちおこし」
は、大学生による県内の民具の整理
や調査、地域と連携した次世代への
継承の取り組みを記す。

他にも、寺田寅彦や小砂丘忠義、
日曜市、捕鯨など多彩な土佐の文化
を紹介している。

(楠瀬慶太)

(昭和堂、2484円)

